くみあいNEWS

第１５２１３号
2020年３月３日(火)
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ：http://nssmwu.jp/　　代表内線番号　和歌山地区(本部)(54)－3590
堺地区　652990／海南地区(54)－5555

組合行事報告



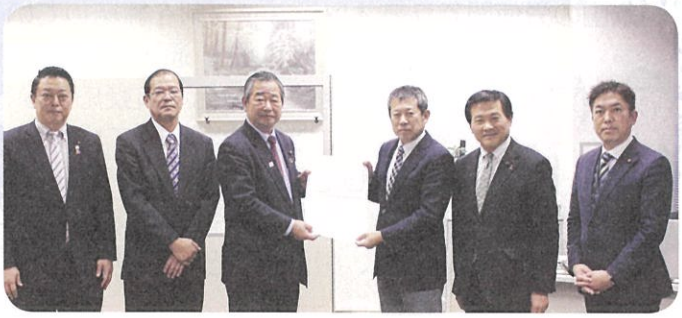
推薦議員懇談会を開催

１月22日(水)組合会館において、和歌山労組の推薦議員団（和歌山市議会　寒川議員、和歌山県議会　浦口議員、岩出市議会　吉本議員、堺市議会　木畑議員　泉南市議会　河部議員）から活動報告を受け、認識を合わせるとともに生活総点検で出された意見・要望を提起すること目的に「推薦議員懇談会」を開催しました。

冒頭、山本組合長より「組合員の皆様に、県政・市政に対する理解を深める為にも我々が推薦している議員団のご活躍を職場に伝えることが重要であり、また職場で出された意見を議員の皆様にお伝えし、改善に繋がるように今回の懇談会を有意義なものにしたい」と挨拶があり、続いて中濱書記長より「第52期の役員体制」「組合の近況」についての報告がありました。

次に、各議員より県政・市政について主要な事業や、現在各県・市の抱えている問題についての報告があり最後に、和歌山労組より全組合員を対象に実施した「生活総点検活動」で出された意見や要望等を提起し内容をご確認いただきました。

和歌山労組は、今後も推薦議員団との連携を密にとり、様々な側面から組合員の生活を支える活動を展開して参ります。



組合学校を開催

１月25日(土)組合会館大会議室にて、支部機関役員158名参加のもと2020年度「組合学校」を開催しました。



冒頭、当労組の教育推進本部長である柳谷副組合長より「本日の組合学校では、会社の経営状況について、ＡＰ20春季取組みについて、産業政策・政策制度・生活諸課題についての講義があり機関役員の皆様には、しっかりと認識を共有していただきたい」との挨拶があり、続いて日本製鉄労連の本部執行役員である、当労組の稲垣特別執行委員より「今次ＡＰ20春季取組みの要求は組合が要求書を提出したのではなく、皆さんの総意で要求書を提出したという事を認識していただきたい。また、

機関役員として、ＡＰ20の情勢について正しい認識をしていただきますようお願いします」と挨拶がありました。

続いて、労政人事室の古仲室長を講師としてお招きし「日本製鉄の経営状況について」と題して「安全･環境･防災」「規律課題」「社員の定着課題」「当社を取り巻く環境と収益状況」「和歌山製鉄所の重点取り組みと下期課題」の５点についてご説明を受けました。特に、日本製鉄の経営状況について参加者は、古仲室長の説明に対し熱心に耳を傾けていました。

次に、中濱書記長から今次ＡＰ20春季取組みについて、上部団体である基幹労連の今次春季取組みの要求設定の考え方等についての説明を受け、その後に、富士社会教育センターの鈴木講師から、「私たちの暮らしと政治」をテーマに、我々の生活と政治の関わりについてご講義をいただきました。



和歌山労組は、今後もこのような教育・研修活動を通じ、組合役員としての意識向上とレベルアップを目指して参ります。

CSC(中国鋼鉄)労働組合との交流会を実施



１月15日(水)に和歌山製鉄所の見学を目的に来所したＣＳＣ労組との交流会を実施しました。ＣＳＣは、旧住友金属時代から鋼材の供給等により深いつながりがあったものの、お互いの労働組合が交流を行うのは今回が初めてとなります。

限られた時間の中、ＣＳＣ労組より和歌山製鉄所における労使慣行や組合員数、組合独自の共済内容などについての質問があり、和歌山労組から丁寧な回答をいました。その回答を聞いたＣＳＣ労組の方々は、日本では労使交渉を産業別ではなく企業別で行うことや、和歌山の労使間でユニオンショップ制を締結していること等、自国との組合文化の違いに驚かれているようでした。通訳を介しての会話ではあったものの、予定されていた時間を若干超えて活発な質疑応答が行われました。最後にＣＳＣ労組の陳春生理事長より、友好の証として山本組合長に記念品が贈呈され、記念撮影が執り行われました。



和歌山労組は、今後も様々な組織と交流を図りながら執行部の知見を高めるとともに、労働組合として役割と責任を果たして参ります。

スノーフェスティバルを開催



２月14日(金)～２月15日(土)岐阜県のダイナランドスキー場において青年女性部主催の「スノーフェスティバル」を開催しました。

本企画は、青年女性部の恒例行事であり組合員とそのご家族を対象に、今回は総勢42名の方が参加されました。

参加者の皆様は約10時間の自由時間をスキーやスノーボードで目一杯楽しまれ、初心者の方々が難易度の高いコースに果敢に挑戦されている光景も見受けられました。帰りの車内では日帰りツアーということもあり、参加者の方々はかなり疲れた様子でしたが、自由時間内にたくさん交流が図られたようで、行きの車内にはなかった新たな横の繋がりが生まれていました。



青年女性部では、今後もより多くの方に楽しんでいただける行事を企画立案してまいりますので、ご協力をよろしくお願いします。

日本製鉄労連第8回中央委員会が開催されました



▲福井執行委員

日本製鉄労連第8回中央委員会における第1号議案「AP20春季取組み方針(案)」に対し、和歌山労組を代表して、福井執行委員が原案賛成の立場で補強意見を述べました。以下に内容を掲載します。

和歌山労組の補強意見

ご安全に。和歌山労組の福井です。原案賛成の立場を表明したうえで意見を申し上げます。

はじめに、和歌山製鉄所では労使・直協が一体となり、様々な安全活動を展開してきたにも関わらず、昨年は休業災害が2件発生し、不休・軽処置災害についても多発したことに加え、環境・防災面においても極めて憂慮すべき状況が続きました。

このような反省を踏まえ、和歌山製鉄所で働く組合員は安全の取組みはもとより、安定した鉄源供給を維持する為、それぞれの持場・立場で日夜業務に励んでいます。とりわけ、足元の職場実態では、高収益品種への対応が高まっており、職場ではそれらのニーズに応えるべく、安定生産に向け、より一層の努力を積み重ねています。

こうした中、今次春季取組み方針(案)について職場討議を実施し周知に努めてきました。我々、鉄鋼産業の先行きに不透明感があり、日本製鉄においても取り巻く情勢が非常に厳しいことから、「人への投資」を求めることに対し、組合員からは一部心配の声も挙がっております。しかし、このような時だからこそ、組合員のモチベーションアップにつながる財源投入を果たしてほしいとの期待も寄せられています。

次に、グループ・関連組合の支援については、NSGR和歌山ブロック加盟組合のほとんどが、和歌山製鉄所構内に在籍していることもあり、製鉄所に関わるすべての組合員の労働条件の「底上げ・底支え」・「格差改善」に向けた取組みを積極的に展開し、労働組合としての社会的責任を果たして参ります。

今次春季取組みは非常に厳しい交渉が想定されますが、連合会におかれましては、基本賃金を中心に課題解決に資する「人への投資」につながる具体的な回答の引き出しに向け、力強い交渉をお願い致します。

また、「65歳定年延長に関わる人事処遇制度」についても、職場討議にて多くの質問が出されるなど、組合員からの関心も非常に高いことから、全ての世代の活力発揮に向けて、粘り強く制度の検討をお願い致します。

最後に、足元の厳しい事業環境を乗り越え、その先の発展につなげていくためにも、基幹労連のリーディングユニオンである日本製鉄労連として、強いリーダーシップを発揮して頂きますことをお願いし、和歌山労組の発言と致します。　以上、ご安全に。

こくみん共済coopからのお知らせ

こくみん共済 coop のマイカー共済に
労働組合経由で加入していますか？

2020年5月より団体割引が
17.5%DOWN⇒20.0%DOWN！

個人で加入すると
月払 3,080円
（年払：35,210円）

日本製鉄和歌山労働組合
経由なら（団割掛金）
月払 2,260円
（年払：25,760円）

※ヴォクシー（型式：ZRR80W）「車両補償付」の場合

組合員投稿コーナー

今月は、「2020年の冬の出来事」をテーマに投稿を頂きました！



ご安全に！鋼管技術支部 継手試験サービス室 南村涼です。

私の冬の出来事は「おせち作り」です。夫の実家は鮮魚店を営んでおり、節分の日は恵方巻、土用の丑の日は鰻、そして正月は「おせち」を販売しています。

毎年、大晦日になると実家へお手伝いに行くのですが、朝から晩まで料理を作っては飾り付け、お客様の元へ配達…気が付けば新年を迎えていたなんて年もしばしば。





お手伝いに参加するのも今回で4回目、私にとって大切な冬の家族行事です。

組合員の皆様、ぜひ一度「魚昌商店のおせち」をご賞味あれ!?

（ちなみに私は魚介類が苦手なので、おせちもお寿司も食べられません…苦笑）